

大綱3 福祉・健康

ページ	政策	該当箇所	現行計画	見直し案（第3回審議会時点）	見直し理由	備考
20	1	現状と課題	平成37年（2025年）には、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となることから、	令和7年（2025年）には、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となることから、	7 その他	和暦修正
21	1	施策指標3-1-1	(追加)	生きがいがある高齢者の割合	指標4 新規追加	現行指標「高齢者生きがい活動センターの年間利用者数」と合わせて、高齢者の生きがいに関する実態を測る指標として設定
22	2	現状と課題	平成28年度（2016年度）末においては、市民のおよそ20人に1人が障がい者手帳を所持しています。	平成28年度（2016年度）末においては、市民のおよそ20人に1人、令和元年度（2019年度）末においては、市民のおよそ18人に1人が障がい者手帳を所持しています。	7 その他	時点修正（最新データを追加）
22	2	現状と課題	(追加)	本市では、障がいに対する理解や配慮に係る啓発事業に取り組んでおり、	7 その他	本市での具体的な取組を追加
22	2	現状と課題	また、地域社会、学校、職場など、暮らしのさまざまな場面において、障がいに対する理解や配慮が求められています。	地域社会、学校、職場など、暮らしのさまざまな場面において、障がいに対する理解や合理的配慮が求められています。	5 個別計画等	障害者差別解消法の改正（R3.6）により、民間事業者においても合理的配慮が「義務」となったこともあり、追加
22	2	現状と課題	また、障がい者に対する就労支援や働きやすい環境を整えるための啓発を進めるなど、障がい者の社会参加を促進する必要があります。	また、障がい者に対する就労支援では、障がい者就労支援ネットワーク会議を設置し、就労系事業者との連携のもとで事業を進めています。就労支援や働きやすい環境を整えるための啓発を進めるなど、障がい者の社会参加を促進する必要があります。	7 その他	本市での具体的な取組を追加
23	2	施策3-2-1	障がい者が地域で生活するために必要な支援の充実を図るとともに、	医療的ケアを要する障がい者を含め、障がい者が地域で生活するために必要な支援の充実を図るとともに、	7 その他	現状に合わせた追加
23	2	施策指標3-2-1	(追加)	ショートステイ利用者数	指標4 新規追加	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIから引継
24	3	現状と課題	分野を超えた総合的な支援を必要とする人もいます。	分野を超えた包括的・総合的な支援体制の整備が必要です。	5 個別計画等	第4次地域福祉計画（R4.3）
24	3	現状と課題	住民の地域福祉活動への参加を促進する必要があります。	住民の地域福祉活動への参加を促進するなど、地域住民や地域で活動する多様な主体、関係機関、行政が連携・協働し、地域全体で支え合う仕組みを構築することが必要です。	5 個別計画等	第4次地域福祉計画（R4.3）
25	3	施策3-3-1	住民主体の地域福祉活動を促進するため、	地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉活動を促進するため、	5 個別計画等	第4次地域福祉計画（R4.3）
25	3	施策指標3-3-1	(追加)	民生委員・児童委員の充足率	指標1 補完追加	現行指標「小地域ネットワーク活動の延べ参加者数」がコロナ禍により実施困難なため、指標を追加
25	3	施策指標3-3-1	(追加)	災害時要援護者支援に関する協定を締結した地区の割合	指標1 補完追加	取組内容との整合性により追加
25	3	施策指標3-3-2	生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数	就労支援事業に参加した生活保護受給者等の就労率	指標3 数量→割合	
25	3	関連する主な個別計画	(追加)	○成年後見制度利用促進計画	5 個別計画等	R4.3策定

ページ	政策	該当箇所	現行計画	見直し案（第3回審議会時点）	見直し理由	備考
26	4	現状と課題	(追加)	本市の平均寿命、健康寿命は国や大阪府の値を上回り、今後は、健康寿命の更なる延伸を図ることで、支援や介護が必要となる不健康な期間を短縮するとともに、生活の質の向上を目指していくことが重要です。	5 個別計画等	健康すいた2 1（第3次）（R4.3）
26	4	現状と課題	医療イノベーションの創出に向けた環境づくりをはじめとし、循環器病予防を中心とした健康・医療のまちづくりに取り組んでいます。	医療イノベーションの創出に向けた環境づくりなど、循環器病予防を始めとした健康・医療のまちづくりに取り組んでいます。	7 その他	健都の取組は循環器病予防だけではなく、なってきたことから拡大した表現に変更
26	4	現状と課題	健都ならではの長を生かしながら、市民の生涯にわたる健康づくりの取組を支援し、生活の質の向上と健康寿命の延伸を図る必要があります。	健都ならではの長を生かした健康づくりや、社会全体で、意識せずとも自然と「健康」につながる環境の整備を進める必要があります。	5 個別計画等	健康すいた2 1（第3次）（R4.3） （「生活の質の向上と健康寿命の延伸」は冒頭に移動）
26	4	現状と課題	(追加)	令和2年度（2020年度）に設置した市保健所は、市民の命と健康を守るため、設置当初から新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、感染に対する不安、行動変容に伴うストレスや雇用不安といった心の健康問題にも対応してきました。感染症は個人だけではなく社会全体にも深刻な影響を及ぼす可能性があるため、その予防や感染拡大を防ぐ措置を講じることが重要です。そのため、全ての市民の感染症に対する理解を深めるとともに、今後新たに発生する感染症等に備え、その権限や専門性を生かし、きめ細かな地域保健サービスを提供することが必要です。引き続き、健康危機管理体制の強化と公衆衛生の一層の向上に努める必要があります。	1-2 中核市（保健所）	
27	4	施策3-4-1	健康意識の向上に向けた取組や地域での健康づくり活動への支援を進めるとともに、検診などの保健サービスの充実を図ります。	ライフコースアプローチの視点に基づき、それぞれの課題に応じた取組を進め、健康意識を高めるとともに、健（検）診などの保健サービスを充実し、生活習慣病等の予防や重症化予防を図ります。また、全ての市民が意識せずとも「健康」につながる仕組みづくりを進めます。	5 個別計画等	健康すいた2 1（第3次）（R4.3） 一部、審議会意見 「『ライフコースアプローチ』の視点は、実際に取り組んでいることもあり、ぜひ表現として入れてほしい」
27	4	施策3-4-1	また、妊娠・出産や子供のすこやかな成長のための切れ目のない支援が行えるよう、妊産婦や乳幼児の健康管理などの支援の充実に取り組むとともに、関係機関との連携の強化を図ります。	(削除（大綱4政策1に移動）)	6 子育て・教育施策	
27	4	施策3-4-2	(追加)	公衆衛生の向上 保健・医療・福祉の関係機関の連携を強化し、専門的なサービスを展開することで、感染症や食中毒といった健康危機への対応、メンタルヘルス、難病患者の支援、生活衛生関連事業者への衛生指導等を通じて、市民の健康の保持・増進を図ります。	1-2 中核市（保健所）	
27	4	施策3-4-3	市民が必要なときに適切な医療を受けられるよう、身近なかかりつけ医と市民病院などの地域の中核的な医療機関との連携の促進や、在宅医療推進のための環境づくり、救急医療体制の確保など、地域医療体制の充実を図ります。	市民が必要なときに適切な医療を受けられるよう、かかりつけ医等の定着促進や「上手な医療のかかり方」に関する啓発、かかりつけ医と市民病院などの地域の中核的な医療機関との連携の促進、在宅医療推進のための環境づくり、救急医療体制の確保など、地域医療体制の充実を図ります。	2-1 コロナの影響	現行指標「地域医療推進に関する講演会などの参加者数」がコロナ禍により実施困難なため、指標を追加するに当たり、施策にも文言を明記
27	4	施策3-4-3	(追加)	また、大阪府医療計画等に基づき、将来の医療需要に見合った医療提供体制の構築に向けた病院機能の分化・連携などを推進するとともに、病院や診療所、薬局などの監視、指導等を行い、地域の医療安全の推進を図ります。	1-2 中核市（保健所）	

ページ	政策	該当箇所	現行計画	見直し案（第3回審議会時点）	見直し理由	備考
27	4	施策3-4-4	さまざまな医療関連資源が集積する健都の特長を生かし、健都ならではの健康づくりの取組を進めるとともに、	さまざまな医療関連資源が集積する健都の特長を生かし、健康・医療情報の利活用によるデータヘルスの推進、健康的なライフスタイルを無理なく生活の中に取り込めるような環境づくりなど、健都ならではの健康づくりの取組を進めます。	7 その他	この間の健都での取組を踏まえ、「健都ならではの健康づくりの取組」の例示を追加
27	4	施策3-4-4	医療イノベーションの創出に向け、国立循環器病研究センターと医療・健康関連産業などとの連携を促進するための環境を整えます。	また、医療イノベーションの創出に向け、国立循環器病研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所と医療・健康関連産業などとの連携を促進するための環境を整え、産学官民連携の取組を進めます。	7 その他	R4年度の医薬基盤・健康・栄養研究所の健都への移転完了を踏まえ追加
27	4	施策指標3-4-1	生活習慣改善に取り組む市民の割合	生活習慣を改善するつもりはない人の割合	指標2 個別計画・取組内容との整合性	取組内容との整合性により置換（現行指標の対となる表現）
27	4	施策指標3-4-1	(追加)	受動喫煙の機会がなかった人の割合	指標4 新規追加	健康すいた21（第3次）（R4.3）
27	4	施策指標3-4-2	(追加)	結核罹患率（人口10万対）	指標4 新規追加	中核市移行（保健所）に伴う新規施策の指標として設定
27	4	施策指標3-4-3	(追加)	かかりつけ医を持つ人の割合	指標1 補完追加	現行指標「地域医療推進に関する講演会などの参加者数」がコロナ禍により実施困難なため、指標を追加
27	4	施策指標3-4-4	健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数 目標 180件	健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数 目標 1,035件（現行：180件）	指標2 個別計画・取組内容との整合性	取組内容との整合性により目標値を上方修正
27	4	関連する主な個別計画	(追加)	○新型インフルエンザ等対策行動計画 ○自殺対策計画 ○食品衛生監視指導計画	5 個別計画等	新型インフルエンザ等対策行動計画（H28.4改正） 自殺対策計画（R1.3） 食品衛生監視指導計画（R2以降、毎年度策定）